

インド進出を検討している企業の皆様の疑問にお答えします！

日系企業のインド進出に拍車がかかっています。

2012年10月現在日系企業926社がインドに進出していますが、今後さらに拡大が予想されます。

進出に際し、社員にどのような研修が必要なのか、現地の生活や子育て、文化の差異など気にかかることが山積です。そんな不安や疑問にインドに要員派遣に際し、人材育成の専門家やインドの方からお話しました。

◆ 日 時:平成 25 年 5 月 8 日(水)

セミナー:午後 1 時 30 分～午後 4 時

ネットワーキング:午後 4 時～午後 5 時(飲み物、軽食付き)

◆ 場 所:ワークピア横浜3階かもめ

横浜市中区山下町 24-1

TEL:045(664)5252 <http://www.workpia.or.jp/>

◆ 講師(敬称略)

(1) ソフトブリッジ グローバルスタディーズ

常務取締役 吉田賢一

○講演テーマ

「インド進出をに役立つ海外派遣要員の育成」

(2) Cubist Edunet Pvt Ltd

Ms.Kshipra P Otdar

○講演テーマ

「インド赴任者が遭遇する生活、子育て、文化の差異について」

◆ 参加者 44 人

◆ 主催等

(1) 主催:一般社団法人横浜インドセンター

(2) 後援:神奈川県、横浜市経済局、(公財)神奈川産業振興センター、(公財)横浜企業経営支援財団、独立行政法人日本貿易振興機構横浜貿易情報センター

◆ 参加費:無料

◆ 対象:インドに進出を予定又は検討している企業、すでに進出している企業

◆ 締め切り:5月7日(火)

◎ お申込み先:<http://www.yokohama-india-centre.jp>

◎ 問合せ先:一般社団法人 横浜インドセンター

事務局 岡本 孝夫

TEL 045(222)7300

FAX 045(222)7333

Eメール:yic@ktpc.or.jp

緊急セミナー！

緊急セミナー！～インドに生産拠点を検討の企業の皆様へ

ムンバイ近郊プネ市に近接するケード(KHED)SEZ 工業団地のご案内

日系企業のインド進出に拍車がかかっています。今回マハラシュトラ州ムンバイ近郊のプネ市(ムンバイから高速道路で3時間程度)から32Kmに近接するケード(KHED)SEZ 工業団地の開発者でありますカリヤニグループが横浜に来訪し、神奈川県・横浜市内の製造業の皆様にご紹介いたします。

プネ市周辺には、マハラシュトラ州産業開発公社が開発した工業団地が2か所あり、すでに埋まっており、今回マハラシュトラ州産業開発公社26%、民間企業のカリヤニグループが74%が出資するケード SEZ 工業団地が開発中です。

プネ市に近接する工業団地では、日系の自動車産業関連企業が進出するとともに、インドの自動車メーカーや欧米系の自動車メーカーが進出しています。今回ご紹介する工業団地には、日本企業はまだ進出していません。

- ◆ 日 時:平成 25 年 5 月 23 日(木)
 セミナー:午前10時～12時
- ◆ 場 所:ワークピア横浜3階いちよう
 横浜市中区山下町 24-1
 TEL:045(664)5252 <http://www.workpia.or.jp/>
- ◆ 来訪者
 KEIPL 社
 ロマナス・ジャ 氏 KEIPL 社長兼専務理事
 ラジェンドラ・ケンジャルカール 氏 ヘッドオペレーション兼施設長
 ブイ・ビジャイクマール 氏 ヘッドマーケティング
 サーミル・カレー 氏 弁護士
- ◆ セミナーの内容
 工業団地の紹介(英語 通訳付き)
- ◆ 参加者:27 人
- ◆ 主催
 主催:一般社団法人横浜インドセンター
- ◆ 参加費:無料
- ◆ 締め切り:5月22日(水)
- ◎ お申込み先:<http://www.yokohama-india-centre.jp>
- ◎ 問合せ先:一般社団法人横浜インドセンター
 TEL:045(222)7300 FAX:045(222)7333
 Email:yic@ktpc.or.jp

インド投資セミナー:タミルナドゥ州進出企業支援の現場から

ジェットロ横浜では、インドのデトロイトとも称されるタミル・ナドゥ州に焦点を当て、現地進出をめざす日本企業が直面し得る問題と対応策等について、ジェットロ・チェンナイ事務所の海外アドバイザーが現地日系企業の実例を踏まえて解説するセミナーを開催しました。

タミル・ナドゥ州には、2012年10月現在で344の日系企業が進出しており、特に自動車産業分野では世界各国からの企業進出が相次いでいます。また、ASEAN諸国やわが国との交易に利便性のよい港湾設備、他地域と比べて勤勉だといわれる労働力等も魅力ですが、地域ごとの特色や制度の違い、未発達なインフラ等、進出にあたって検討すべき課題もあります。

現地で日系企業支援に携わる専門家から最新情報を聞く貴重な機会でした。

◆ **日時** : 2013年5月29日(水曜)14時00分～15時30分(開場13時30分)

◆ **内容**: 講演:「タミルナドゥ州(チェンナイ)進出企業が抱える問題及びその理解と対応策」

講師:ジェットロ・チェンナイ事務所 海外投資アドバイザー 守岡 喜一(もりおか きいち)

講師略歴:1975年総合商社入社以来インド向け鉄鋼製品輸出担当。1982-1986 マドラス(現チェンナイ)、1997-2002 ムンバイ駐在。2002-2008 中国広東省で鉄鋼加工事業会社経営、新会社設立。その後インド向け新規投資案件、新会社設立業務、北インドでの新会社(工場)設立を現場支援。

この他、内部監査士実務経験(1988-1993)

◆ **場所** : [神奈川中小企業センター](#)14階 多目的ホール(横浜市中区尾上町5-80)

地下鉄関内駅 7番出口より徒歩2分、JR関内駅北口より徒歩5分、JR桜木町駅より徒歩7分、みなとみらい線馬車道駅 3番出口より徒歩7分

◆ **主催**:ジェットロ横浜、(一社)横浜インドセンター

◆ **後援** 神奈川県、(公財)神奈川産業振興センター

◆ **参加費(税込)**:無料

◆ **参加者**:59人

◎ **お申し込み締め切り** :2013年5月27日(月曜)

◎ **お問い合わせ先**:ジェットロ横浜(担当:杉山、田中) Tel:045-222-3901 Fax:045-662-4980 E-mail:
yok@jetro.go.jp

インドセミナー

不安解消！インド進出への第一歩

～わかっているれば、怖くない！ありのままのインドライフ「体感」セミナー～

—「行けば、必ずおなかをこわす。」「まともな病院はあるの？」—

13億人の巨大市場がねむるインド。近年、多くの企業が進出しています(2012年11月現在の日系企業は926社。昨年比14%増)。一方、タイや中国の数千社という実態にくらべるとまだまだ進出企業は少数派。その裏にはビジネスチャンスはありそうだが、いったいどんな暮らしになるのやら…という生活面での不安も、他国に比べ大きいものがあるようです。

不安の解消にむけ、デリー在住の不動産の専門家が、ありのままのインドライフ～買い物、学校、医療、住宅、治安など～をビジュアルも交えレポートしました。

◆ 日時:平成25年6月27日(木)午後1時 開場

セミナー:午後1時30分～午後3時45分

ネットワーキング:午後3時45分～午後4時45分

◆ 場 所:産業貿易センター2階かながわグローバルビジネスセンター

商談室 <http://www.yokohama-india-centre.jp>

横浜市中区山下町2 TEL:045(222)7300

◆ 講師

(1) Mr.Fatih Aksel 氏

NRM International /Executive Director

講師略歴:9年にわたり日本に在住。その後インドに移り、インドに進出する日本企業を「住」の分野で支援をするNRMグループの取締役として、第一線で活躍中。海外からのリロケーションおよび、ホスピタリティの分野で優れた専門性を持つ。インド在住歴4年。

(2) 山本由紀子 氏

NRM International/Deputy General Manager

講師略歴:2012年よりNRMグループの日本人チームのリーダー。1990年代にもインド駐在経験があり、その豊かな経験から「住まい」だけにとどまらず、ひろく暮らしのコンサルテーションを提供。インド在住歴、通算で3年半。

◆ 参加者 31人

◆ 主催等

(1) 主催:一般社団法人横浜インドセンター

(2) 後援:神奈川県、横浜市経済局、横浜商工会議所、(公財)神奈川産業振興センター、(公財)横浜企業経営支援財団、独立行政法人日本貿易振興機構横浜貿易情報センター

◆ 参加費:無料

◎ 申し込み先 一般社団法人 横浜インドセンター

問合せ先 <http://www.yokohama-india-centre.jp>

TEL:045(222)7300 FAX:045(222)7333

Eメール:yic@ktpc.or.jp

南インドビジネスセミナーのご案内

南インドビジネスセミナーのご案内

< 活況を呈する現地市場の将来性、日印企業の動向 >

南インドのタミル・ナドゥ州は、インドのデトロイトとも称され、世界各国の自動車メーカーが生産拠点を設置しています。また、2010年の日産自動車(株)の現地生産開始など、日系企業の進出も急増しております。このような中、タミル・ナドゥ州政府と神奈川県は、相互に経済交流を進めているところです。

本セミナーでは、日本貿易振興機構(ジェトロ)チェンナイ事務所長より南インドの最新の投資環境を説明いただくとともに、日産自動車(株)から南インドでの事業展開についてご講演いただきました。また、インド企業3社によるプレゼンテーション、工業団地の紹介も行いました。

日時

平成25年7月4日(木曜日)セミナー:14:30-17:00、交流会:17:15-18:45

会場

ワークピア横浜(横浜市中区山下町24-1)

セミナー:かもめ・やまゆり(3階)、交流会:いちよう(3階)

プログラム

14:30-14:35 開会挨拶 神奈川県

14:35-14:40 開会挨拶 横浜インドセンター副会長 西田義博氏

14:40-15:00 「南インドの現地市場と将来性、日系企業動向」

日本貿易振興機構(ジェトロ)チェンナイ事務所長 藤井真也氏

15:00-15:30 「日産自動車の南インドでの事業展開」

日産自動車株式会社 インド事業部 主管 川戸重幸氏

15:30-16:25 「各分野ビジネスリーダーによる講演」

INFOSYS(情報通信業)、Sitics Logistics Solutions Pvt. Ltd(物流業)

ほか1社(製造業で調整中)

16:25-16:40 「南インドの工業団地の紹介①」アセンダス・サービス・インディア社

16:40-16:55 「南インドの工業団地の紹介②」双日(株)

16:55-17:00 質疑応答

17:15-18:45 ビジネス交流会

参加者:162人

送付先:県国際ビジネス課

FAX:045-210-8875

メールアドレス:economicsection@pref.kanagawa.jp

主催 神奈川県、(一社)横浜インドセンター、日本貿易振興機構(ジェトロ)横浜貿易情報センター

共催 (公財)神奈川県産業振興センター

問合せ先

神奈川県産業労働局産業・エネルギー部国際ビジネス課(担当:鈴木) 電話:045-210-5567

FAX:045-210-8875

ジェトロ横浜(担当:杉山、田中) 電話:045-222-3901 FAX:045-662-4980

このページに関するお問い合わせ先

[産業労働局 産業・エネルギー部 国際ビジネス課](#)

[産業労働局 産業・エネルギー部 国際ビジネス課へのお問い合わせフォーム](#)

国際ビジネスグループ

電話 045-210-5565

日本×インド 日本で初めてスタートする「インド巨大市場 B to C ビジネス参入への道」

～今のインドの消費者通販市場は、1,000 万人以上 1, 4 兆円(2012 年)そして 8.4 兆円(2016 年)(参照 wikipedia)と予想されています。巨大インド市場に誰でも始められるインド通販への参入の方法とテストマーケティングへの活用について講演します～

巨大成長をし続けるインド市場。多くの日本企業が、インドへの進出を本格化しています。

“海外経験が豊富にあり、英語も全く問題ない”という企業でも、インドビジネスへの参入は“むずかしい”“なかなか実現しない”という声を良く聞きます。

インドビジネスは、インド式ビジネス文化を理解することが大きな鍵となります。
インドビジネス文化を理解しなくて、ビジネスは始まらないといっても過言ではありません。

ではどうしたら？このたび、インド市場(B to C)に誰でも参加できる仕組みを誕生させました。

インド通販市場について、講師からお話を聞きました。

1. 日時:平成 25 年 7 月 22 日(月)

○セミナー 午後 1 時 30 分～午後 3 時

○ネットワーキング 午後 3 時～4 時 30 分

2. 場所:産業貿易センター2 階 かながわグローバルビジネスセンター商談室

商談室 <http://www.yokohama-india-center.jp>

横浜市中区山下町 2 TEL:045(222)7300

3. 講師

Sunny Chandiramani サニー チャンディラマニ

(株)AAAAA 代表取締役

講師略歴:1983 年横浜生まれ。中学から大学までインドで学ぶ。専門は、マーケティングアナリスト。長い間日本とインド両国に関わり、日本とインドの文化の違いを深く理解する。大学で得た専門力を活かし、数年前よりインド通販市場の拡大となる可能性を感じ、誰でも出来るBtoCへのインド通販参画の仕組みを誕生させた。現在は、日本製品をインドにつなぐ活動を精力的に行っている。

4. 定員 40 名(先着:事前申込制)

※受講票はお送りしません。定員オーバーしたときのみご連絡します。

5. 主催等

(1)主催:一般社団法人横浜インドセンター

(2)後援:神奈川県 横浜市経済局 (公財)神奈川産業振興センター

(公財)横浜企業経営支援財団 独立行政法人日本貿易振興機構横浜貿易情報センター

6. 参加費:無料

7. 参加者:28 人

<http://www.yokohama-india-center.jp>

TEL:045(222)7300 FAX:045(222)7333

Eメール:yic@ktpc.or.jp

関東大震災被災者・在横浜インド人被災者追悼式のご案内

横浜インドセンターからのお知らせ

関東大震災被災者・在横浜インド人被災者追悼式 のご報告

本年も関東大震災被災者・在横浜インド人被災者追悼式及び交流会を下記のように開催いたしました。

2013年9月1日 日曜日

集 合： 11:40 山下公園インド水塔前

当日次第

- 主催者挨拶
- インド大使館駐日インド大使 ご挨拶
- 横浜市副市長 ご挨拶
- 黙祷
- 献花
- 解散

交流会 追悼式終了後12:15頃から 13時頃まで

場 所：一般社団法人 横浜インドセンター

〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル2階

(かながわグローバルビジネスセンター内)

約50名の関係者が集まり、インド大使館、横浜市からのご挨拶をいただいたのち、黙祷を行い、献花を行いました。終了後横浜インドセンターで、インド料理をいただき、交流を深めました。

主 催： 横浜ムンバイ友好委員会

インド自動車部品市場開拓セミナー

南インドのタミル・ナドゥ州は、インドのデトロイトとも称され、世界各国の自動車メーカーが生産拠点を設置しています。このような中、タミル・ナドゥ州政府と神奈川県は、相互に経済交流を進めているところです。

本セミナーでは、日本貿易振興機構(ジェトロ)名古屋貿易情報センター所長(前チェンナイ事務所所長)藤井真也氏よりインドの自動車産業と投資環境を説明いただくとともに、株式会社ヨロズ様からインドでの事業展開についてご講演いただきました。また日本貿易振興機構(ジェトロ)がチェンナイ及びブネで11月下旬に開催を予定している「インド自動車部品商談会」についてもご案内いたしました。

- ◆ 日 時 平成25年9月5日(木)14:30~16:00
- ◆ 会 場 横浜シンポジア (横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル9階)
- ◆ 主 催 神奈川県、(一社)横浜インドセンター、横浜商工会議所

日本貿易振興機構(ジェトロ)横浜貿易情報センター

- ◆ 共 催 (公財)神奈川産業振興センター
- ◆ プログラム

14:30~14:35 開会挨拶 神奈川県

14:35~14:40 開会挨拶 横浜インドセンター副会長 西田義博氏

14:40~15:20 「インド自動車部品産業の現状と課題」(仮称)
日本貿易振興機構(ジェトロ)名古屋貿易情報センター所長
藤井真也氏(前チェンナイ事務所所長)

15:20~15:50 「株式会社ヨロズのインドでの事業展開」
株式会社ヨロズ 代表取締役社長 佐藤和己氏

15:50~16:00 質疑応答

- ◆ 申込方法 9月4日(水)までに、裏面の参加申込書にご記入の上、FAX またはメールにてお申し込みください。
- ◆ 参加者数 88人
- ◆ 問合せ先 神奈川県産業労働局産業・エネルギー一部国際ビジネス課(担当:鈴木)

電話:045-210-5567 FAX:045-210-8875

メールアドレス:economicsection@pref.kanagawa.jp

インドセミナー「インド見本市、120%活用マニュアル」

最近一年間でインド国内20箇所の見本市を視察した有限会社ココロワールド代表大矢浩史氏が、現場で経験し実感した、最新生情報をシェアしました。

「見本市を視察したい」「見本市に出展したい」、そして「見本市を足がかりにビジネス展開をはかりたい」という企業の皆様に、大矢氏のノウハウをすべてご提供いただきました。

後半は、インドの見本市主催者とテレビ電話をつなぎ、インド見本市参加のススメ、参加のPR、質疑応答を行いました。

◆ 日時:2013年9月30日(月)

○セミナー 午後2時～午後4時30分

○ネットワーキング 午後4時30分～午後5時30分

◆ 場所:産業貿易センター2階 かながわグローバルビジネスセンター商談室

商談室 <http://www.yokohama-india-centre.jp>

横浜市中区山下町2 TEL:045(222)7300

◆ 主催等

(1)主催:一般社団法人横浜インドセンター

(2)後援(予定):神奈川県 横浜市経済局 (公財)神奈川産業振興センター

(公財)横浜企業経営支援財団 独立行政法人日本貿易振興機構横浜貿易情報センター

◆ 講師

大矢浩史 氏

有限会社ココロワールド 代表取締役

1963年名古屋生まれ。工学修士。東洋エンジニアリングFA部門でシステムエンジニアとして海外プロジェクトに携わる。その後、鋼構造物製造業を行う家業に役員として参画。1995年にインドビジネスを開始し会社設立。ここ数年は日印間ビジネスの橋渡しを行うコンサルタントとして活躍。自らの経験から「見本市は情報と人脈の宝庫」と賞賛し、インド訪問時は必ず見本市を視察する自称“インド見本市第一人者”。

◆ 定員 40名(先着:事前申込制)

※受講票はお送りしません。定員オーバーしたときのみご連絡します。

◆ 参加者数 24人

◆ 参加料:無料

◆ 締切:9月27日(金)

◎ お申込み先:<http://www.yokohama-india-centre.jp>

◎ 問合せ先:一般社団法人横浜インドセンター

TEL:045(222)7300 FAX:045(222)7333

Email:yic@ktpc.or.jp

◎ [申込書はこちら](#)

インド経済セミナー 主催:川崎商工会議所 共催:JETRO横浜、横浜インドセンター

人口12億を抱え、目覚ましい経済成長を続けるインドは、アジアにおけるGDPが中国、日本に次ぐ第3位を占め、急拡大する中間所得層を中心に国内市場の増大が見込まれます。インド市場に今世界が注目しています。出遅れていた日本企業も進出に拍車がかかっています。注目を浴びるインド、インド経済の動向やインドビジネスの進め方について、次のとおりセミナーを川崎商工会議所、JETRO横浜とともに開催しました。

- ◆ 日時:平成25年10月16日(水)15:00~17:00
- ◆ 場所:川崎商工会議所2階 KCCIホール
川崎市川崎区駅前本町 11-2 川崎フロンティアビル(川崎駅より徒歩約3分)
<http://www.kawasaki-cci.or.jp/about/access.html>
- ◆ 主催:川崎商工会議所
共催:JETRO横浜、(一社)横浜インドセンター
- ◆ 講演
 - (1)「インド経済の現状とビジネス機会」(仮題)
日本貿易振興機構(ジェトロ)海外調査部アジア・大洋州課 古谷 礼子 氏
 - (2)「インドビジネスの進め方と留意点」
一般社団法人横浜インドセンター相談員(元商社インド駐在員)梶原 幸生 氏
 - (3)「ジェトロ中小企業海外進出支援事業」
日本貿易振興機構(ジェトロ)横浜貿易情報センター 所長 秦 めぐみ 氏
 - (4)「横浜インドセンターの組織と活動」
一般社団法人横浜インドセンター 事務局長 岡本 孝夫 氏
- ◆ 定員 80名
- ◆ 参加数 60人
- ◆ 参加料:無料
- ◆ 締切:10月9日(水)までに申込書をFAXまたはメールにてお申し込みください。
- ◎ お申込み先:川崎市商工会議所 地域産業部国際課
TEL:044-211-4113
Eメール:sangyo@kawasaki-cci.or.jp
- ◎ 添付の申込み用紙にて申し込みください。

自動車部品調達展示商談会2013インド・チェンナイ視察・商談団の参加者募集

横浜インドセンターでは、既インド進出日系完成車および部品メーカーのインドでの部品調達と販路拡大および日本の部品サプライヤーのインド進出・販路開拓の双方を支援するため、完成車メーカーおよび一次サプライヤーを主な出展者とする、自動車部品現地調達展示商談会－JETRO主催を視察・商談するツアーを企画しました。

本展示商談会には、日系に限らず、地場や外資系の完成車メーカー、一次サプライヤーも出展予定です。完成車メーカーやサプライヤーと部品の販路開拓やJV等の提携についての商談が可能となる絶好の機会です。奮ってご参加ください。

本視察は、参加者が集まらず中止しました。

- ◆ 日時:平成 25 年 11 月 24 日(日)～28 日(木)3 泊 5 日
- ◆ 場所:インド・チェンナイトレードセンター及び日系企業・日系工業団地等の視察
- ◆ 企画:横浜インドセンター、JETRO横浜
- ◆ 協力(予定):神奈川県、横浜市経済局、横浜商工会議所、神奈川産業振興センター、横浜企業経営支援財団、神奈川県中小企業団体中央会
- ◆ 旅行主催:近畿日本ツーリスト(株)横浜支店
- ◆ 視察内容:参加者募集チラシをご覧ください。
- ◆ 定員:20名(最少催行人数 10 名)
- ◆ 旅費:284, 000円(横浜インドセンター会員、JETROメンバーズ)
304, 000円(上記以外の参加者)
- ◆ 締切:10月16日(木)
締め切り後、参加説明会を 17 日または 18 日開催予定
- ◎ JETRO・インド自動車部品商談会参加案内書:<http://www.jetro.go.jp/events/item/20130924032/>
- ◎ お申込み先:<http://www.yokohama-india-centre.jp>
- ◎ 視察に関する問合せ先:一般社団法人横浜インドセンター
TEL:045(222)7300 FAX:045(222)7333
Email:yic@ktpc.or.jp 岡本
- ◎ 旅行に関する問い合わせ先:近畿日本ツーリスト(株)横浜支店
TEL:045(287)4580 善村、伊藤

インド経済セミナー・個別商談会

インド経済セミナー・個別商談会

～印日商工会議所(インド・チェンナイ)訪日団来県～

インド南部に位置するタミルナドゥ州は、日産自動車をはじめ自動車関連企業を中心として日系企業が多数進出しています。このたびタミルナドゥ州チェンナイ市に本部を置く印日商工会議所 N.クリシュナスワミ会長を団長とする代表団が昨年 5 月に引き続き来県の運びとなりました。

つきましては、インド経済セミナー・個別商談会・ネットワーキングを下記の通り開催いたしました。

- ◆ 日 時:平成 25 年10月22日(火)14時30分～18時
- ◆ 場 所:ワークピア横浜 2階 おしどり (ネットワーキングは2階くじゃく)
住所:横浜市中区山下町24-1 電話:045-664-5252
URL:<http://www.workpia.or.jp>
- ◆ プログラム ① インド経済セミナー 14 時 30 分～16 時 20 分
 - ア インドにおける投資機会
 - イ チェンナイ港とエンノール港について
 - ウ スリシティ工業団地の紹介
- ② 個別商談会とインド企業のプレゼン 16 時 20 分～16 時 50 分
- ③ ネットワーキング 17 時～18 時

◆ 商談を希望するインド企業の名簿

添付の訪問団リスト及び商談希望をご覧ください。

- ◆ 主 催:神奈川県、ジェトロ横浜、一般社団法人横浜インドセンター
- ◆ 共 催(予定):公益財団法人神奈川県産業振興センター、公益財団法人横浜企業経営支援財団、公益社団法人横浜貿易協会、神奈川県中小企業団体中央会
- ◆ 後援(予定):横浜市、横浜商工会議所
- ◆ ネットワーキングとレセプション:セミナー終了後名刺交換と商談の継続
- ◆ 参加費:無料
- ◆ 定員:100 名
- ◆ 参加者数 63人
- ◆ 個別商談件数 5件

◎本件お問い合わせ先・参加申込書送付先

横浜インドセンター 事務局

電話 045-222-7300 FAX 045-222-7333

e-mail yic@ktpc.or.jp

<http://www.yokohama-india-centre.jp>

定員になり次第締め切ります。

【印日商工会議所】 INDO-JAPAN CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY

- ・1989 年「インド・ジャパンセンター」としてチェンナイに設立
- ・インドと日本との経済・文化交流の促進を目的とする団体
- ・印日ビジネスパーソンのためのセミナー開催、企業訪問団の派遣受け入れを実施
- ・印日企業へのコンサルティング業務の実施
- ・文化交流イベントの実施、インドで日本語学校を運営
- ・2010 年 7 月に日本の外務大臣から印日両国間の関係強化に対する貢献で表彰される。

平成26年横浜インドセンター新春講演会

平成26年横浜インドセンター新春講演会

～インド・日本のビジネスパーソンが語るインドビジネスの進め方～

経済成長に一服感のあるインドですが、今後10年、20年の長期スパンで考えると、インド市場の魅力は尽きません。難しいといわれるインドビジネスですが、失敗しないインドビジネスを進めるため、インド・日本のビジネスパーソンからそれぞれのお立場で「インドビジネスの進め方」についてご講演いただきました。

◆日時:平成26年1月28日(火) 午後2時～4時30分

◆会場:メルパルク横浜2階ルビーの間 <http://wedding.mielparque.jp/yokohama/about/access.html>

◆講演テーマ

(1)「インドビジネスパーソンが語るインドビジネスの進め方」

[Mostly communication challenges, issues , how to partner with indian business people].

講師:ニルマラ純子 氏

プロフィール:

有限責任監査法人トーマツ インド事業マネージャー

インド共和国・バンガロール生まれ。法政大学大学院修了(イノベーションマネジメント 専攻)。日印コンサルタント会社起業を経て、現在有限責任監査法人トーマツ エンタープライズリスクサービス インド事業マネージャー。これまで13年間、日本企業の海外展開、外国企業の日本市場参入を中心に活動。主なプロジェクト実績として、サプライチェーンマネジメント、市場参入、マーケティング・販売促進、流通、特許申請、合併・提携 など

(2)「インド進出失敗しないため、具体的問題例と成功例」

講師:高山憲二 氏

プロフィール

3年間の南米放浪後、1974年三井金属に入社。1991年触媒事業部営業部長、インドビジネスは1997年より。インド以外に台湾、タイ、ブラジル、アメリカ、中国、

イタリアで営業活動。

◆参加費用:無料

◆定員:80人(受講票はお送りしません。定員をオーバーした時のみご連絡します。)

◆参加者:87名

◆締切:平成26年1月24日(金)

◆主催:一般社団法人横浜インドセンター

◆後援(予定):神奈川県、横浜市経済局、公益財団法人神奈川県産業振興センター、

公益財団法人横浜企業経営支援財団、横浜商工会議所、JETRO 横浜、公益社団法人横浜貿易協会

◎ お申込み先:<http://www.yokohama-india-centre.jp>

◎ 問合せ先:一般社団法人横浜インドセンター 岡本孝夫 金子真紀

TEL:045(222)7300 FAX:045(222)7333

Email:yic@ktpc.or.jp

テクニカルショウヨコハマ2014への出展及び会場内でのセミナーのご案内

横浜インドセンターでは、次のとおり恒例のテクニカルショウヨコハマ2014に出展するとともに、会場内におきましてセミナーを行いました。

また、会期中インドセンターブースにおきまして、会員企業様によるインド進出相談を行いました。

1 テクニカルショウヨコハマ2014

・日時:平成26年2月5日(水)~7日(金)10時~17時

・場所:パシフィコ横浜展示ホールC, D

<http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html>

・出展場所:産公学・企業間ネットワーク k-16

・相談者:44名

2 出展者セミナー

・日時:平成26年2月5日(水)14時~14時50分

・場所:セミナー会場C

・テーマ:「インドビジネスの進め方」

講師:インドセンター相談員 梶原幸生

内容:インド駐在経験から語る失敗しないインドビジネス

入場方法:自由参加

・参加者:30人

◎問い合わせ先:横浜インドセンター事務局

担当:岡本孝夫、金子真紀

電話:045(222)7300 FAX:045(222)7333

Eメール:yic@ktpc.or.jp

インド進出失敗しないシリーズNo.2 成功するインドでの事業展開と経営管理

インド進出失敗しないシリーズNo.2

成功するインドでの事業展開と経営管理

～「魅力あるインド市場の実態と、日系企業が直面する課題について」～

人口12億人を有し、中間所得層の台頭が著しいインド市場ですが、複雑な法制度や税制、ビジネス慣習の違いなど、日本企業が多くの課題に直面しています。インド市場の実態を俯瞰するとともに、インドでの日本企業の進出状況を分析したうえで、中堅・中小企業の進出時に注意すべきポイントについて解説します。今回インド現地の生の声を直接届けるために、インド・チェンナイ常駐のインド人パートナーと日本人マネージャーを講師に加えています。英語の講演部分は逐次日本人講師が解釈を加えて訳し、講師3人での議論も行いながら進めるインタラクティブなセミナーを行いました。

●前半基礎編（GIIPインド駐在者からの現場の声）：インドでの事業機会と事業で直面する課題

●後半応用編（具体例に基づいた解説）：インドの事業機会と事業で直面する課題

◆日時：平成26年2月17日(月)セミナー：午後2時～3時30分

ネットワークング：午後3時30分～4時30分

◆場所：産業貿易センタービル2階かながわグローバルビジネスセンター商談室

<http://www.yokohama-india-centre.jp>

◆主催：一般社団法人横浜インドセンター

◆後援（予定）：神奈川県、横浜市、JETRO横浜、公益財団法人神奈川産業振興

センター、公益財団法人横浜企業経営支援財団、横浜商工会議所

◆講師略歴

佐藤江司（公認会計士：日本および米国ニューヨーク州）

一橋大学社会学部卒、南カリフォルニア大学経営学修士（MBA）。GIIP（ジーアイアイピー）国際アドバイザー共同グローバル・マネジメントパートナー。GIIPインド代表。PwC東京事務所で監査やコンサルティング業務に従事。米国MBA留学の後、KPMGニューヨーク事務所でM&A関連アドバイザー業務、またNYベースの投資管理会社にてヘッジファンド投資などオルタナティブ投資管理を経験。2009年に現在の海外事業支援ビジネスを立ち上げ、これまで多くの日本企業を支援。

ラム・プラカッシュ（公認会計士：インド）

大手、中堅日本企業を含め、インドに進出した多くの多国籍企業に対して、バックオフィスのアウトソーシングや会計やビジネス上の問題を解決するためのアドバイスを提供。Capri代表、GIIPとCapriは提携を視野にプロジェクトベースで協働。

田中啓介（公認会計士：米国）

GIIPインドマネージャー、インド・チェンナイ常駐、日本企業のインド進出、事務管理の成功をサポート

◆定員 40名（先着：事前申込制）

※受講票はお送りしません。定員オーバーしたときのみご連絡します。

◆参加者：34名

◆参加料：無料

◆締切：平成26年2月14日（金）

◎お申込み先：<http://www.yokohama-india-centre.jp>

◎問合せ先：一般社団法人横浜インドセンター

T E L : 045(222)7300 FAX : 045(222)7333

Email : yic@ktpc.or.jp